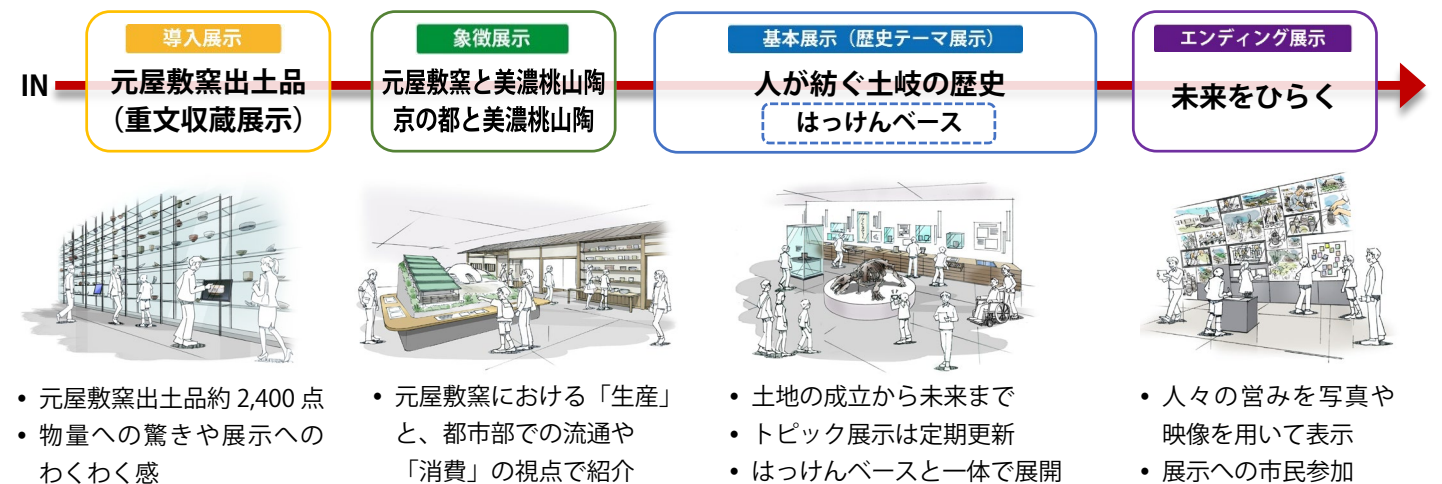


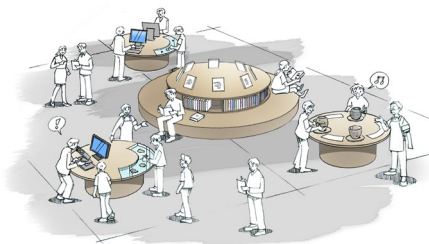
常設展示の概要

- 常設展示は「重文展示室」「歴史展示室」「はっけんベース」「美濃桃山陶展示室」で構成
- 「美濃焼」と「土岐市の歴史・文化」がつながり合い今に続いていること、特に「美濃桃山陶」が土岐市の歴史のなかで重要な位置づけであることを伝える



展示をより楽しむための活動スペース「はっけんベース」

- 陶片やレプリカ等に触れるハンズ・オン展示、ワークシートやタブレットを使った解説、展示に関連する図書の配架等を行う
- はっけんベースで学習、体験した内容を「みのやき commons」でさらに深め、主体的な学びや知識を創出する



整備スケジュール

- 計画地が決定後、建築および展示設計を行い、その後敷地造成工事、建築工事、展示工事を順次推進

市民ワークショップを開催しました！

タイトル 「土岐市らしいミュージアムってどんなところ？」～ドローンに乗って、土岐の魅力大発見！～
開催日 令和 4 年 6 月 18 日（土） **開催場所** 土岐市役所 1 階 多目的スペース **参加人数** 26 名



- <寄せられたアイデア（一部）>
- 子どもから大人まで楽しみ日常利用したくなる、敷居が低く、間口の広い博物館
 - 実際に触れたり、デジタル技術を使った「体験型」の展示
 - さまざまな目的にも使える場（ユニークメニューの活用）など

タイトル 絵付け体験 オリジナル美濃焼はしおきをつくろう
開催日 令和 4 年 11 月 6 日（日） **開催場所** 土岐市役所 土岐フォーラム **参加人数** 110 名



- <寄せられたアイデア（一部）>
- 絵付け～作陶まで年代も幅広く体験できるとよい
 - 子どもが楽しめる場所になってほしい
 - 体験がいっぱいできて一日中過ごせるところがよい
 - 土岐の歴史や地層について知りたい など

令和 5 年 3 月 土岐市教育委員会 文化スポーツ課 TEL：0572-54-1111（代表）

※本文中に記載の室、活動等の名称は仮称です。諸室構成や面積についても令和 5 年 3 月時点での想定となります。

土岐市文化財保存活用拠点（仮称）基本計画

概要版

新博物館の理念とめざす姿

開かれた扉

－豊かな文化資源を蓄え、市民とともに新たな文化を創造し、土岐市の未来をひらく－

目的① 指定文化財を含む文化資源の保存

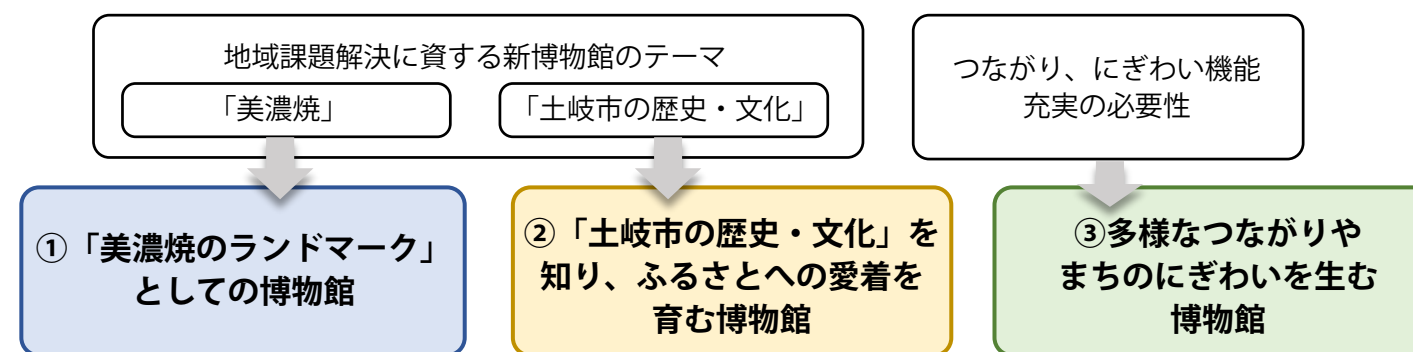
目的② 文化資源を活用した学びや交流の創出

文化資源を守るとともに、ふるさとへの愛着や誇りが育つ、次代へつなげるミュージアム

めざす姿

多様な市民や団体とともに学び、つながり、活動が広がり続けるミュージアム

新博物館の特徴



新博物館で行う事業活動

博物館
基盤機能

- 調査研究事業：「人々の営み」の視点を基礎とする「美濃焼」「土岐市の歴史・文化」の調査研究
- 収集保存事業：文化資源の収集、分類、整理、適切な収蔵下での保存
- 展示公開事業：美濃焼や土岐市の歴史、文化に関する展示／インターネットを活用した情報発信
- 教育普及事業：学校教育との連携、生涯学習活動に対する支援

にぎわい
機能

→ つながり事業：市民協働で実施する調査研究や展示活動／他の博物館や多様な活動者との連携

つながり
機能

→ ビジターセンター事業：美濃焼を知るきっかけや美濃焼産地へのいざない／回遊を促す情報発信強化

→ にぎわい事業：交流や居心地のよい場の創出／ショップ、カフェ

博物館ボランティア「ときはくサポーターズ」

- 運営補助などの活動にとどまらず、文化資源の掘り起こしや保存、公開等の博物館事業に市民が参画する組織で、市民一人ひとりのニーズに応じた活動をバックアップ
- 開館前より各事業をサポートズとともに試行し、活動の基盤をつくる

市民とつくる「ときはくアーカイブス」

- 美濃焼や地域資源に関する写真やオーラルヒストリー等を蓄積するプラットフォーム
- 情報収集や整理活動を市民とともに実施したり、市民自身も閲覧、投稿したりできる
- 市民や研究者、作り手等が自由に利活用できるオープンデータとして公開

新博物館のイメージ

施設の概要と構成

- 公開承認施設の基準に適合した施設づくり
- 規模は本館で約 2,520 m²、収蔵庫棟で約 780 m²（全体約 3,300 m²）を想定
- 収蔵庫棟は、別棟（別構造）による計画も検討
- ユニバーサルデザインに配慮した施設づくり
- エントランス部分に「ときはくひろば」を展開し、展示公開や教育普及、つながりエリア等とゆるやかにつなげる

計画地、周辺の状況

